

花見小前にハンプ完成



通学路の安全確保
スピード減速
交通量減少

校区一体となった運動
古賀市で初のハンプ
2年間で実現

2019年8月
花見校区でハンプ実証実験要望書
2020年9月
国道事務所の協力で実証実験を実施
2021年8月～9月
花見小通学路2か所にハンプ設置完了

地域の課題解決のために全力を尽くします

上の写真は9月に設置工事が完了した花見小前の「ハンプ」です。スピード減速と交通量減少の効果が期待されます。2年前に地域の皆さんに呼び掛けて要望書を提出。50キロを超す車が通過する危険な通学路の安全対策は急務でした。地域一丸となった行動と国道事務所、建設課の協力で実現しました。

古賀市でもオンデマンドバスの実証実験を！

路線バス赤字補てん、
5千万円超す！



宗像市のオンデマンドバスに乗ってきました。

ダイヤも運行ルートもない
アプリや電話で予約・呼び出し
最短距離で目的地へ

古賀市でも、小竹系統、
花鶴丘や日吉台で検討か

公共交通の新たな手段

左の写真は宗像市のA I型オンデマンドバスの紹介です。古賀市の路線バスは利用者が減少し、赤字補てんは増加続き。利便性向上と市の財政負担軽減のためにオンデマンドバスは有力な選択肢です。古賀市での導入を提言しています。

千鳥駅東口 ようやく着手

右の写真は千鳥駅東口の現状。今年度で用地2074㎡を取得し、来年度以降に駅前広場整備の工事が始まる予定です。バス停やタクシープールを配置し、市道浜山1号線の歩道も整備。長年の課題がようやく進むことになりました。

千鳥駅東口整備

2021年度用地取得
2022年度以降
駅前広場整備工事



千鳥駅東口整備予定

6月15日の本会議で判明

予算額	1億8675万円
取得する面積	約2074㎡
整備内容	●駅前広場として、バス停やタクシープールなどを配置予定 ●駅前広場への接続道路である市道浜山1号線の歩道整備を含めた改良を予定 ▼付近の踏切の拡幅は予定していない
スケジュール	●2021年度に開発公社で先行取得 国庫補助事業対象とする要望 ●2022年度以降に用地の買戻しや整備工事を実施予定



古賀市議会議員
ぬま健司

ぬま健司 ニュースレター

2021年10月発行

Facebook、Insta、Twitter、Homepageで暮らしに役立つホットな情報を発信中です！



ぬま健司事務所

〒811-3113 古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103
電話・FAX：092-944-2639
メール：ny2knm@gmail.com

9月定例議会
田辺市政をしっかりとチェック
議会として大事な役割

8月23日から9月16日まで定例議会が行われました。下の写真のように質疑と討論、政策提言を行いました。市政のチェックは議会の大事な役割です。私は田辺市政に足りない課題として、「自前の政策立案力をアップさせるためのシンクタンク」、「検証可能な公文書作成を義務付ける条例制定」を提言。また10年先を目標に「小学校区単位の支え合いセンターと保健師配置」、「小中学生、20代対象の特定健診」を提言しました。第5次総合計画の審議も始まりました。

SNSを活用
迅速に、わかりやすく情報発信

私は議会での議論、市政の動き、コロナ情報などを連日発信しています。これからのまちづくりは行政や議会任せではうまくいきません。一緒に勉強しませんか。連絡をお待ちしています。Facebookのメッセージやメールを送ってください。アドレスはny2knm@gmail.comです。

オンラインで報告会
ZoomやFacebookで対話の場

私は定期的にオンラインで対話の場を作っています。オンラインでお会いしましょう！

決算審査で市長質疑

一般質問で政策提言

基本構想に大綱質疑

答弁する田辺市長

①補正予算14億6400万円、過労死ライン11人
賛成討論・市政運営の指摘

②コロナ対策補正と自宅療養者に対する生活支援

③決算審査5日間、歳出280億円、コロナ73億円、財政状況、総合計画委託1500万円、健診結果
賛成討論・市政運営の指摘

④一般質問：シンクタンク、公文書、アクションプラン
課題打開の政策提言

⑤選挙費用の公費負担(来年市長選から適用)
賛成全員で可決

⑥少人数学級、義務教育費国庫負担拡充の請願
賛成全員で採択

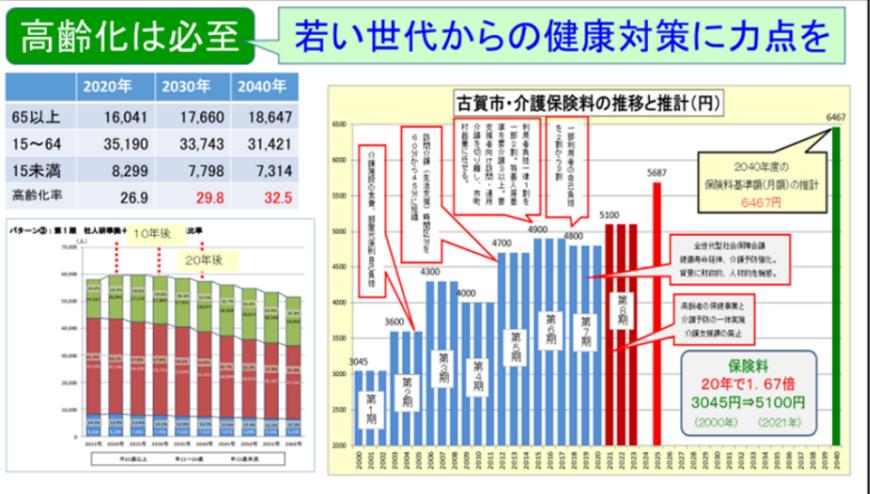
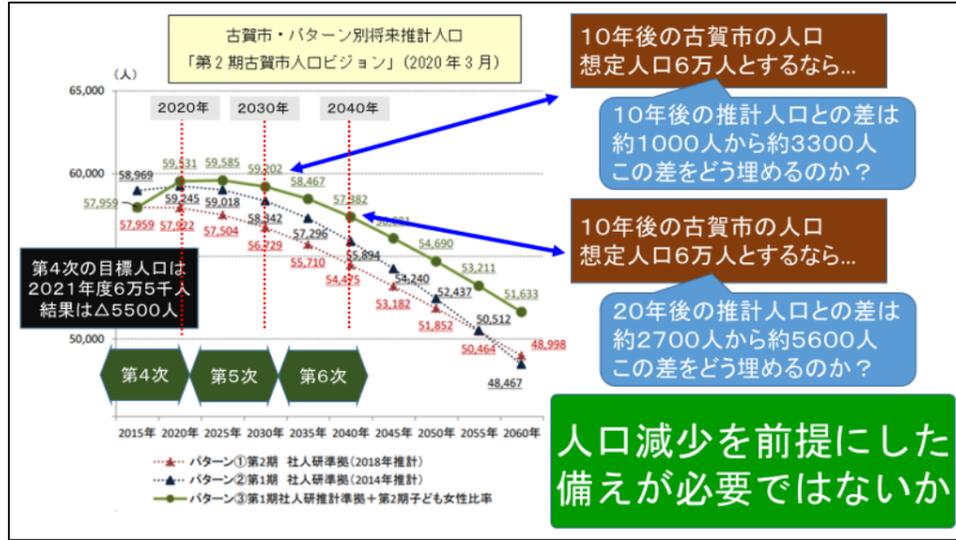
⑦地方税財源充実求める意見書、議運が提出
提案理由説明、賛成全員で可決

⑧第5次総合計画の基本構想を最終日提出
大綱質疑・特別委員会付託

上記の内容でご意見、ご質問がありましたらメールをください。メール等でご説明します。

10年後、20年後の古賀市を考えてみませんか

右のグラフは古賀市の2060年までの人口ビジョンです。3パターンありますがいずれも減少を見込んでいます。市は減少する時期を先送りすることをねらっています。しかし、地域の仕組みを整備するなど人口減少時代への備えこそ必要ではないでしょうか。



左のグラフは、65歳以上の高齢者が増え続け、介護保険料の負担が重くなるという市の推計です。若い世代が古賀市を選んでくれるまちづくりは必要です。同時に、小中学生、20代の若者対象の特定健診を導入するなど健康づくりを計画的に推進することが必要不可欠です。市長の決断を期待しています。

70歳、医師の僕が たどり着いた

鎌田式 かかと落とし スクワット

鎌田 實

シンプルな 体操2つで 体も心も元気になる

いつでもどこでもできる

ロングセラー 13万部突破!

おススメの1冊

長野県で地域医療に貢献されている医師の鎌田實さん。尊敬するお医者さんです。その鎌田さんが自らの経験に基づき、若い人にも高齢者にもすすめているのが「スクワット」と「かかと落とし」。道具もいらず、場所もとらない、シンプルな運動なのに毎日続けるとうれしい効果があるというのです。

「筋活」と「骨活」で血糖値も血圧も下がり体も軽くなる。「100歳もいいけど、長さよりも大切なのは人生最後の日まで元気でいること」。本当ですね。おススメの1冊です。

(集英社、1000円+税)

田辺市長、第5次総合計画基本構想の議会提出に踏み切る(9月16日)

基本構想案の概要は以下の通り。議会で議決します。しかし、拙速な策定の為このままでは職員にも市民にも「読まれない計画」になってしまいます。一緒に検討しましょう。

- 今後10年の重点は明確か
- ✓人口減少時代への備えをどうする
 - ✓地域と健康づくりの具体策は
 - ✓地球温暖化対策の力点は
 - ✓コロナの教訓をどう生かす
 - ✓消えたSDGs達成の具体策

計画期間	第5次総合計画期間 2023年度～2031年度
都市イメージ	ひと育つ こが育つ 人がまちを支え まちが産業を支え 産業が人を支え みんなが育つ 未来に向かって育ち続けるまち
基本目標	①すべての人が尊重し合い未来を拓く子どもたちが輝くまち ②すべての人が地域で支え合い健やかに暮らせるまち ③産業が暮らしを支え 地域をつなぎすべての人が豊かさにとぎわいを感じられるまち ④都市基盤と環境が調和しすべての人が快適で安心して暮らせるまち
推進指針	すべての人が つながり 考え 創る みんなが主役のまち
まちづくり指標 (主観指標)	住みよさ指標：74.2% (令和元(2019)年度) → 上昇 (令和13(2031)年度) 定住指標：59.7% (令和元(2019)年度) → 上昇 (令和13(2031)年度)
想定人口 (客観指標)	60,000人 子育て世代にとって魅力的なまちづくりや、企業立地による税収の確保と雇用の創出、既存ストックを有効活用した計画的・効率的な人口集積などの施策を推進し、現在の人口規模を可能な限り維持する
土地利用構想	■市の玄関口に相応しい魅力ある空間の整備 ■都市の活力の基礎となる産業用地の確保 ■安全・安心で活力ある生活を支える居住地域の形成 市街化調整区域では建築規制緩和、市街化区域外での大規模住宅開発は見合わせ ■海と山の豊かな自然や良好な農林業環境の保全

あなたのご意見を 送ってください!

下のアンケートにご記入しFAXかメールで送ってください
FAX: 092-943-4427 メール: ny2knm@gmail.com
郵送: 古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103 むま健司事務所

「ひと育つ こが育つ」をどう思いますか	①良い ②普通 ③良くない ④わからない
「まちづくり指標」をどう思いますか	①良い ②普通 ③良くない ④わからない
「想定人口6万人」をどう思いますか	①良い ②普通 ③良くない ④わからない
力を入れるべき政策は何ですか (複数選択可)	①子育て ②教育 ③健康 ④福祉 ⑤人権 ⑥住宅 ⑦企業誘致 ⑧農業 ⑨地球温暖化対策 ⑩防災・減災 ⑪健全財政 ⑫文化・スポーツ ⑬その他()
10年後、どんな古賀市を望みますか	
あなたは未来に向けて何をしますか	
連絡先(任意): お名前、電話かメール	